

## クラウドクレジット株式会社

2019年9月13日

ジョージアマイクロローン事業者ファンド III 号分配時運用状況についてのご報告(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

表記ファンドは当初予定していた満期償還期を迎えましたが、2019年6月28日に、別途「ジョージアマイクロローン事業者ファンド III 号 契約期間延長のお知らせ」にて配信をさせていただきました通り、運用期間を2020年6月末日まで延長させていただきました。その後、本営業者は2019年8月にすべての資金の着金を確認いたしましたので、本ファンドを償還いたします。満期時報告を以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額	: JPY 37,200,000.-
うち投資総金額	: JPY 36,046,800.-
うち運用手数料	: JPY 43,270.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2018年6月19日
グループ会社貸付金額	: GEL 793,254.02
適用直物 GELJPY レート	: 45.44
適用先物 GELJPY レート	: なし
グループ会社貸付期間 (当初予定)	: 2018年6月19日から2019年6月25日
資金運用日数 (当初予定)	: 371日
グループ会社貸付金利 (年利)	: 13.4%

===2019年6月25日(返済予定日)時点の状況 ===

予定グループ会社利息返済額	: GEL108,043.35
実現グループ会社利息返済額	: GEL0.00
未返済の利息額	: GEL108,043.35
予定グループ会社元本返済額	: GEL793,254.02
実現グループ会社元本返済額	: GEL0.00
未返済の元本額	: GEL 793,254.02

出資者返済原資	: GEL 0.00
円貨換算出資者返済原資	: JPY 0.-
募集時表面利回り	: 8.6% (期間: 2018年6月19日~2019年6月30日)

===2019年8月13日(ローン返済日)時点の状況 ===

グループ会社累積未払利息額	: GEL122,313.23
実現グループ会社返済利息額	: GEL122,313.23
未返済の利息額	: GEL0.00
運用目標達成率	: 100.0%
遅延損害金額	GEL8,285.45
実現グループ会社元本返済額	: GEL793,254.02
グループ会社未払元本額	: GEL0.00
実現元利金返済額	: GEL923,852.70
実現直物 EURGEL レート	: 3.2320
出資者返済原資	: GEL 923,852.70
実現直物 EURJPY レート	: 117.68
実現直物 GELJPY レート	: 36.41
円貨換算出資者返済原資	: JPY 33,638,299.-
ファンドの実現利回り	: -8.0% (期間: 2018年6月19日~2019年8月31日)

===分配金および償還金の概況===

分配金および償還金の有無	あり
分配金および償還金の金額	33,638,299 円
出資金 1万円当たりの分配金および償還金の金額	9,043 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

#### 出資対象事業の概況

本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社はエストニアグループ会社 (Crowdcredit Estonia OÜ) にジョージアラリ建てで貸付を行い、エストニアグループ会社はこの貸付金を原資に、(案件①)「マイクロローン事業者ファンド」シリーズで貸付先となっている小口融資事業者 (B社) グループのジョージア (旧グルジア共和国) 子会社 (L社) に対して貸付を行うとともに、(案件②) Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介して、ジョージアの会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の購入を行いました。

#### 案件①の資金需要者の変更について

2019年5月に、B社グループより当社に対して、①ジョージア国内法規制の変更に伴ってジョージアにおけるB社グループの事業に影響が出てくることになったこと、また当該変更を理由に②当社エストニアグループ会社からの資金借入人をL社から、別のB社グループ会社であるGA社に移行したいこと、の申し出がありました。これを受け、当社では債務者がL社からGA社に移った場合にGA社が当該債務を返済できる十分な能力を有していることをB社グループがどのように担保できるのかを交渉することとしました。その交渉のなかで、当初の債務者であるL社が債務をGA社に移管した後も、GA社の債務返済を保証するというGuarantee Agreementの締結にB社グループが同意すれば合意可能と判断しました。これは、一般論として、万一GA社が債務を履行できなかったとしても当初債務者であったL社からの返済が見込めることから、投資家のみなさまに過大な信用リスクを負わせることにはならないと判断したためです。

上記の保証ストラクチャーにB社グループも同意したことから、当ファンドの案件①における貸付先が、2019年5月31日付でL社からGA社へと変更がされました。なお、GA社は他社グループから不良債権化したジョージア国内の貸付債権を安価に購入して回収事業を行っております。

今回の規制変更に関しては、2018年7月以降、現地ジョージアにて貸金業者を監督している中央銀行が、貸金業者の資本金要件の引き上げ等の規制強化を進めており、業界全体で事業に対する逆風となっております。

本ローンの満期日は2019年6月24日となっておりますが、当社は同日に返済が遅れるとの通知を受領いたしました。GA社及びL社の流動性管理（貸付の満期と借入の満期の長短を合わせる管理）が十分でなかったことから、GA社及びL社に十分な流動性資産（手元資金）がないことが要因との説明を受けました。かかる状況から、本営業者は本件匿名組合契約の契約期間を延長し、2020年6月末日までを延長後の契約期間とさせていただくことといたしました。その後、当社エストニア法人はGA社から返済を受領した後、当社エストニア法人は営業者に返済を行い、当初予定の元利金返済及びローンの当初満期を超えた経過日数に相当する利息を含めたGEL 915,567.25に遅延損害金 GEL 8,285.45を加えたGEL 923,852.70を受領し当ファンドは償還を迎えることとなりました。

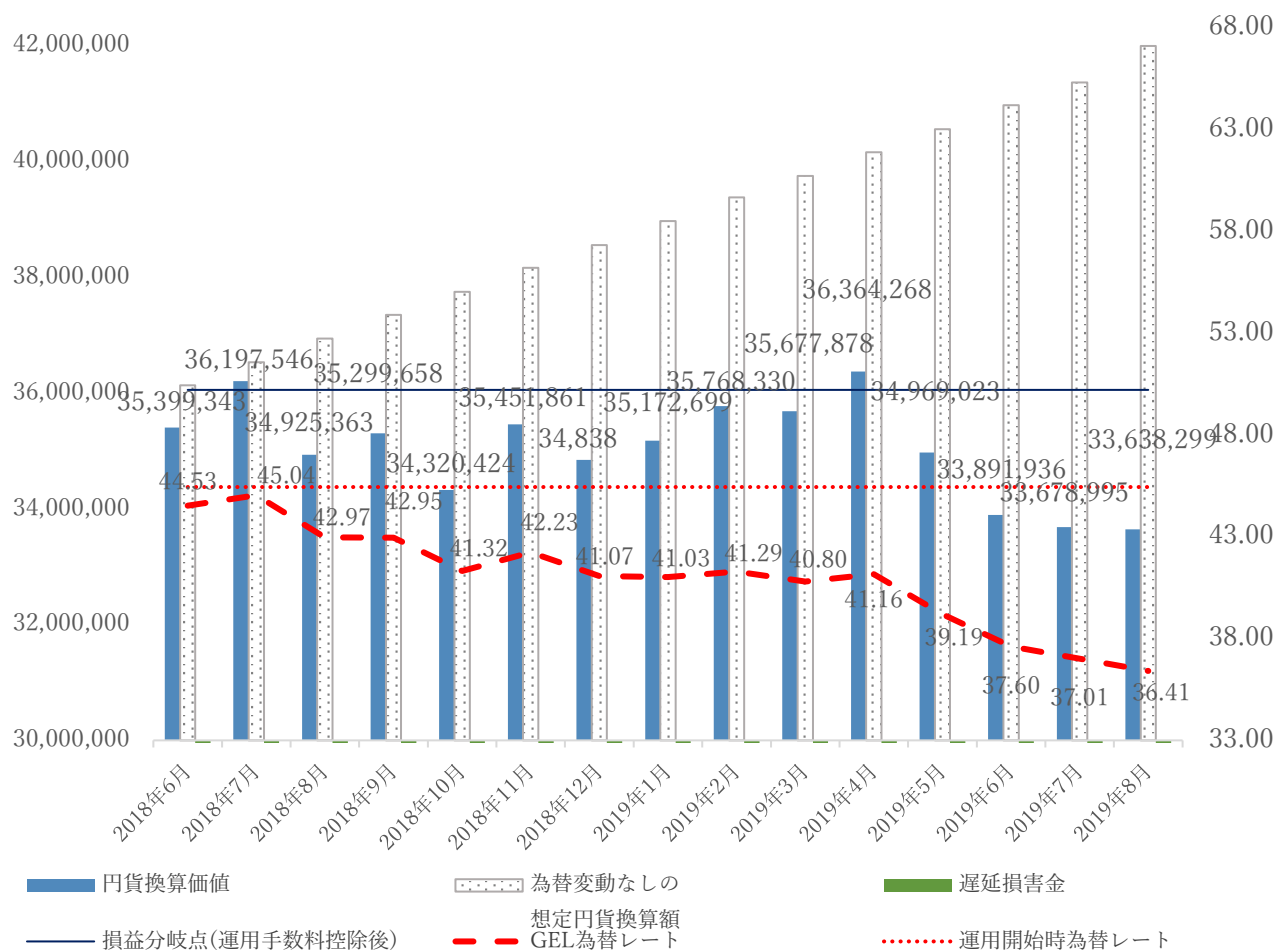
運用開始時に1ジョージアラリ当たり45.44円だった換算レートが運用終了時に1ジョージアラリ当たり36.41円と円高が進行した結果、本ファンドは円建てで元本割れが生じました。

長期の外貨運用には、為替変動に伴う差損益が常に発生いたします。一時的な為替変動による影響を抑制できるよう、投資対象と投資実行時期の分散を行いながら長期的な外貨投資の継続をご検討いただければ幸いです。

なお、本ファンドに関する出資金については、金融商品取引業等に関する内閣府令第125条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に開設する口座で分別管理を行いました。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも当社ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

## 運用期間中の価値変動グラフ



<会社概要（クラウドクレジット株式会社）>

【代表者】 杉山智行

【設立年月】 2013年1月

【資本金等】 2,084,546千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入

クラウドクレジット・ファンディング合同会社およびエストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2018年12月末現在・単位：千円)	1,000	10,751,200	10,769,258	△18,058	1,145,306	1,903	2,925	2,847
Crowdcredit Estonia OÜ (2018年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	76,657,401	75,058,999	1,598,402	7,513,535	967,565	967,572	967,572
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2018年12月末現在・単位：千円)	50,000	12,980,958	12,193,632	787,326	1,309,129	△484,881	△483,556	△504,219

※会計期間(2018年1月1日から2018年12月31日まで)の金額を記載しております。